

7番 米永淳子 議員

1 指定管理者制度の検証について

- (1) 指定管理者制度は公共施設の管理運営に民間の経営ノウハウを活用して効率的で効果的な運営を図る目的で導入された。同制度導入から10年以上経過していることから、抜本的な検証作業を行うなど、同制度に適さないと思われる施設について見直す考えはないか。
- (2) 指定管理指者制度は、経費削減だけでなく、市民サービスが行き届いているかどうかを検証できるシステムとなっているか。

2 教育行政について

- (1) 法の改正により、試薬のフッ化ナトリウムが劇物の対象となり、管理が厳格となった。全国でフッ化物洗口実施率1位の佐賀県では、半数以上の12市町がフッ化物洗口を中止している。本市も中止する考えはないか。
- (2) 全国の小中高校生で不登校児童生徒は18万人以上いるともいわれている。本市の現状と不登校支援について示されたい。
 - ① 教育機会確保法を理解するために現場への周知について示されたい。
 - ② 不登校の相談業務に欠かせないスクールカウンセラーの存在をどのように捉えているか。
 - ③ フリースクール等と学校及び教育委員会との連携について示されたい。
 - ④ 電話相談など不安を抱える保護者への支援は十分か。
また、具体的な対応方法及び課題について示されたい。